

タイムリーな情報や大人の意見を掲載する。特に、時事問題についてはいくつか違った角度からの見方や解釈などを例示し、多様な考え方があることを伝える。(福岡県)



年度初めは似顔絵付の自己紹介カードを書かせた。それ以外では生徒の長所を探して通信で褒めたり、生徒に好きな言葉を書かせて紹介したり。また、行事の写真もそのつど掲載。ある反抗的な生徒の家庭訪問をしたら、その写真のいくつかを部屋に貼っていた。それ以来関係が良好になった。(北海道)

不定期にしないこと。月1回なら、いつ発行するか明示する。定期便になると生徒は心待ちにしてくれる。生徒の誕生日や部活動の試合予定、生徒間のリレーエッセイなど、生徒の知りたいことや生徒の情報を載せると興味をもってくれる。(福岡県)



生徒の声や写真を載せるとよく読んでくれる。生徒がよく知る人の言葉も効果的なので、こちらが伝えたいメッセージを代弁してくれる記事は結構探している。最近だとサッカーの長友佑都選手の本からの引用は好評だった。(京都府)

「クラス通信」はローテーションで班ごとに制作させている。教科担当の先生のインタビューや、クラスで話題になっていること、担任からの一言など、生徒が自ら企画し、原稿に手書きで記入。教員の視点とは異なる内容に仕上がった。(埼玉県)



「言葉に魂を込める」ことが大切。多少青臭いことでも魂がこもっていれば、生徒の心に響く。『名言セラピー』や『恋する日本語』からの引用をコラムとして紹介するのも効果的。(滋賀県)

## 進路指導、私の工夫 となりの知恵袋



テーマ：読んでもらえる「クラス通信」の  
工夫・アイデア

ネット閲覧可

WEBサイトには紙面に載りきらなかったヒントも掲載  
キャリアガイダンス.net > 「進路指導、私の工夫」をチェック!